



東京ハレンチ天国

恋なきブルース

本田隆一 監督作品

2001年作品 / カラー / 16mm / スタンダード / モノラル / 80min
主演 / 山本浩司、安田美香、元木隆史、乙黒史誠、横山浩基

TOKYO SHAMELESS PARADISE GOOD-BYE BLUES

16mm/Color/Standard/Monoral/80min/2001/Japan

Director/Screenplay Ryuichi Honda

東京ハレンチ天国ホームページ <http://www.peacockfilm.com>



story

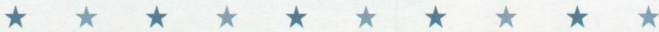
「これは、スノーマン、半端なGSマニアとかではない！構図からスタイリングまで、スキがないうえに笑わせる！恐れていた世代の登場。この調子で21世紀をぶっとはしてんだ。チューイング、ホン噛みながら待ってるよー」……サエキけんぞう(ミュージシャン・作詞家)

憧れの職業である“殺し屋”になった黒川(山本浩司)は、その初仕事を成功させ、事務所に戻るが、ピンク映画の監督でもある暗黒街のボス(映☆画次郎)は黒川が死体を始末しなかった事に怒り、死体をバラバラにして捨てるように命じる。

一方、売れないGSバンド“ドンキーズ”のメンバーは、一獲千金を目指して、暗黒街の組織が取り引きするカバンを強奪する事を計画。交わらない筈の二つの物語が交錯してしまい、そのうえ黒川が“ザ・ドンキーズ”のヴォーカル・エミにハートを奪われたため暗黒街 対 GSバンドというとんでもない抗争が始まってしまふ……。

あ の 人 が 出 演 し て 居 る

1967年、ファーストシングル「トンネル天国」で鮮烈なデビューを飾った、言わずと知れたGSバンド「ザ・ダイナマイツ」のヴォーカルにしてリーダーの瀬川洋。日本ロック史の中で重要な役割を果たす山口富士夫も、このバンド出身である。瀬川氏は、現在も「トラベリン・オーシャン・ブルーバース」というロックバンドを率いて活躍中である。今回この映画のサントラにも曲を提供している。そして驚異の新人「映☆画次郎」という芸名で怪演する有名個性派大物俳優。よくよく見ると実はあの「鉄男」の……という、びっくりカメラ出演。



映画を観た後、誰もが 「トウキョウ、ア・ゴーゴー〜♪」と歌い出す。

《劇中のテーマ曲について》 本田隆一

映画で流れる60-70年代GSの演奏は1971年生まれのサミー荻原率いる「ザ・ロイヤル・フィンガーズ」が担当。この寺内タケシを彷彿とさせるエレキ・インストバンド「ザ・ロイヤル・フィンガーズ」はドイツでも人気で、ドイツ、日本の両方からすでにCD、レコードを発売している。

尚、サントラは公開劇場受け付けにて限定発売中!(¥1200)

<http://www.peacockfilm.com>



【東京ハレンチ天国・さよならのブルース】

2001年作品/カラー/16mm/スタンダード/モノラル/80分
2001年ゆづり国際ファンタスティック映画祭 オフアンター部門 グランプリ受賞作品
2001年第19回トリノ国際映画祭出品 2001年リール・アジア国際映画祭出品

監督・脚本/本田隆一 製作/横山浩基 撮影・照明/橋本清明「鬼畜大宴会」「空の穴」録音/古谷正志
音楽/サミー荻原(ザ・ロイヤル・フィンガーズ)
制作/ピーコックフィルム 提供/PLANET studio+1 配給/ピタース・エンド+スリーピン
主演/山本浩司、安田美香、元木隆史、乙黒史誠、横山浩基 特別出演/瀬川洋(ex ザ・ダイナマイツ)、映☆画次郎

本田君のモミアゲは長い。そのモミアゲで彼はこんなにハレンチな歌謡映画をつくってしまった！長いまつげの女の子、ミリタリー
ッンにGSサウンド、見ててても楽しいけど、切なくもなる殺し屋のブルース………

渚ようこ(歌手)

T O K Y O

2001年12月8(土)~21(金) + 2002年1/19(土)~25(金)

連日12:00/13:50/15:40/17:30/19:20

中野武蔵野ホール
phone 03-3389-3301
http://www.musashino.co.jp

O S A K A

2002年 2/9(土)~22(金)

連日レイトショーPM 9:10~ ★白曜日は休映

テアトル梅田
梅田フットボール
06-6359-1080